

令和3年 第2回臨時議会
鳴海町長 所信表明

思いやりと

笑顔にあふれた新冠の
実現に向け



5月7日臨時議会で所信表明を行う鳴海町長

令和3年第2回新冠町議会臨時会の開催にあたり、町長就任のご挨拶と町政運営に対する所信の一端を申し述べさせていただきます。

私は、4月20日に告示された新冠町長選挙におきまして、無投票当選の榮に浴し、5月1日付けをもちまして、二期目の町政運営を担うこととなりました。

思い起こせば4年前、多くの町民の皆さま方からの熱い支持を胸に抱きながら、「町民の声が生かされる町政」、「分かりやすく公平・公正な町政」、「町民と行政との協働の町づくり」を基本姿勢に「思いやりと笑顔にあふれた新冠」の実現に向けて大きく踏み出した一歩は、町民の皆さま、町議会議員の皆さま、職員の皆さまに支えられながら、確かな足跡となり確実に前進することができたものと思っております。

おかげさまで持ちまして継続事業を含め、町民の皆さまにお約束してきた公約の8割以上を達成することができましたことを改めて感謝申し上げます次第であります。

しかしながら、これらの事業

につきましては、急速に進む時代の流れによって変化が伴うほか、未だ衰えを見せない、新型コロナウィルス感染症への対応が求められますことから、常に事業の検証を行いながら必要に応じて改善を図っていかねければならないものと思っております。

また、医療・福祉施設や道の駅の改築など、やり残した事業もまだまだ多くありますことから、町議会議員の皆さまはもとより、町民の皆さまと協議しながら施策を進めてまいりたいと考えております。

1 一次産業の振興について

昨年度は新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、国内外への移動や外出の自粛のほかインバウンドの減少は、農林水産物の消費を抑制し、市場価格の下落を招いたことから、当町の主要産業であります、一次産業への影響が懸念されましたが、幸いにも深刻な事態にまでは至らず安堵したところであります。

今後は、コロナ禍にあっても生産から流通、消費まで国民が安心して暮らせるよう産業構造そのものが大きく様変わりしていくものと考えられますので、

2 住民福祉の充実について

医療・福祉・介護を取り巻く状況は、これまでの分野別の施策から、それぞれが重なり合い、一体として取り組む地域共生社会の仕組みづくりへと変化が求められております。

今後は、新たに策定した地域福祉計画や健康増進計画と既存計画との整合性を図りながら、社会福祉協議会との連携やボランティアの育成に意を用いながら、町民が安心して住み続けられるよう施策展開してまいり所存であります。現在、新型コロナウィルス感染症に係る対策が最も優先される課題と認識し、取り組んでおりますことをご理解願いたいと存じます。

特に今、最も急がれる課題は、

新型コロナウィルスワクチン予防接種の早期実施であり、現在、高齢者から始まるワクチン接種に向け、全庁体制で取り組んでおりますので、今しばらくお待ちいただきたいと存じます。

また、町民の健康増進対策として実施した、新冠温泉入浴券の配布や特定検診及び各種がん検診の無料化の継続はもとより、今後は、現在、中学生までを対象に子どもの医療費助成を実施しておりますが、高校生までの助成拡大についても検討を進めてまいりたいと存じます。

加えて、高齢者の季節性インフルエンザ予防接種助成の拡大など感染症予防対策の充実を努めるほか、団塊ジュニア世代が65歳を迎える2040年を見据えつつ、当町の医療・福祉・介護を効率的に運営するための施策方針の策定を進めてまいりたいと存じます。

3 河川の防災対策やJR海岸の護岸復旧について

防災対策は町民の生命と財産を守る安心・安全なまちづくりのスタートラインであると捉え、就任以来、防災対策の充実・



昨年11億円を超える販売額となった『にいかっぴピーマン』

国の政策や生産団体、生産者の意向をしっかりと踏まえ、時代に即した支援に努めてまいりたいと存じます。

農業振興におきましては、これまでの取り組みにより基幹作物であるピーマンや黒毛和牛は市場関係者や消費者からも高い評価を頂戴しており、特にピーマンは道内一の生産地として昨年は11億円を超える販売額となっており、今後は、今後も安全で安心な農畜産物を安定して提供できるよう生産・集荷体制の維持・拡大に向けた支援を続けてまいります。ほか、農道や営農飲雑用水施設などの基盤整備にも取り組んでまいります。

林業振興におきましては、戦後に植林された人工林の多くが成熟し、本格的な利用期を迎えており、この豊富な森林資源を有効に活用されるよう適切な施策管理が求められていることから、町有林はもとより私有林につきましても新たな森林経営管理制度のもと財源措置された森林環境譲与税を有効に利用しながら取り組んでまいります。

漁業振興におきましては、気象や海水温の細かな変化が漁獲量に著しい影響を及ぼすことから、沿岸漁業を主体とする当町にとつては、限られた資源と漁場を有効に活用し、資源回復や生産増大に向けた地道な取り組みが大変重要でありますので、漁業協同組合や関係団体との連携を図りながら、前浜の資源の確保・育成に努めてまいります。

また、一次産業全体を通して、担い手や働き手の不足が恒常的となっており、健全な経営体を維持していくことは重要な政策課題であると認識しております。ことから、これまで実施してきた農業分野での担い手並びに新規就農対策の更なる充実を図りますとともに、一次産業全体の持続的な発展に努めてまいります。



5月24日から始まった高齢者コロナワクチン接種